0822 水車の甲でコトオコシ

自然資源・既存の技術を活用した「省エネ」住宅

アイディアシートvol.2

自然エネルギー100% エコ・え〜ねハウス



エネルギーを作るだけではなく省エネが有効

新しいエネルギー政策の研究開発拠。

すでにあるものを組み合わせ活用するか。コトオコシ 発想で企画開発。

企画の背景・発想の原点



- ●島嶼国ツバルは雨水利用のタンクがどの家に常備されている。セラミックフィルタでバクテリアをシャットアウト。
- ●地下室の冷気利用で冷房。
- OEx大谷石採石場
- ○東京の巨大地下空洞。大都市の洪水対策。
- 〇ヨーロッパ リヨンではすでに実施されている。

エネルギーゼロの家(電気も燃料も水も自給) 「エコ・え〜ねハウス」研究開発

- 断熱効果を高めた地下空洞の冷気を冷房に利用。
- •雨水利用。
- ・屋根には太陽光パネル。
- ・エネルギー自給自足住宅(集合住宅も)開発。
- ・エコトイレ等も導入。
- ・冬場はペレットストーブ。

●研究開発体制(案)

- ・研究開発グループを形成(エネルギー政策推進委員会を発展)
- ・パネル、新エネ、住宅開発会社、専門家、
- ・若手(工業高校、高専)→総合「山業(さんぎょう)大学の創設へ、、
- 奈良県南部の玄関ロで研究者が滞在して試作開発できる場をつくる。

